

文字でのやりとりは、ふだんの会話とどうちがう？

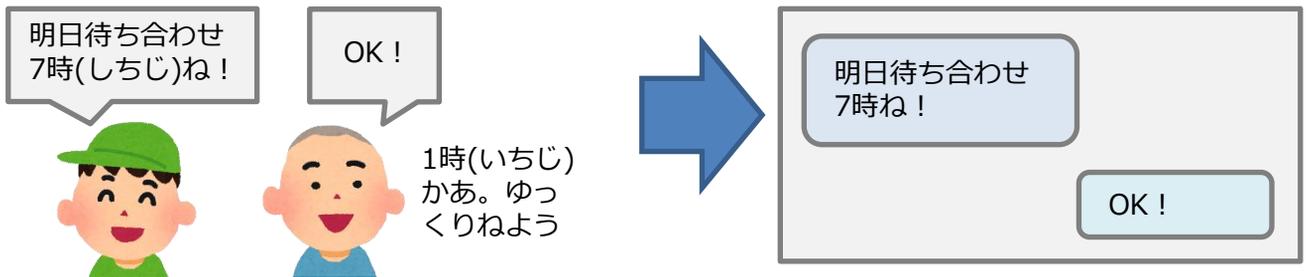
インターネットを使って、日ごろから友だちと文字でのやりとりをしている人も多いのではないのでしょうか。文字でのやりとりには、ふだんの会話とちがう特ちょうがあり、上手に使えるようになるためにはその二つのちがいを理かいしておく必要があります。

文字でのやりとりは、情報(じょうほう)を伝えるのに便利！

文字でのやりとりのいいところは、情報を正かくに伝えられることです。顔を合わせた会話では聞きまちがいなどで情報がちゃんと伝わらないことがあります。文字でのやりとりではそうした心配はありませんし、もし忘れてしまっても後からかくにんすることもできます。

聞きまちがいが起きやすい、このような会話も……

文字にすると正かくに伝わります



文字だけで気持ちを伝えるのはむずかしい

私たちはふだんだれかと顔を合わせて会話するとき、言葉の中身だけで相手の気持ちをはんだんしているわけではありません。相手の顔の表じょうや声の調子、身ぶり手ぶりなどもまじえて、相手が何を伝えたいかをはんだんしています。そのため、そのような情報のない文字でのやりとりでは、気持ちを伝えるのがむずかしく、ごかいがうまれやすいのです。

This diagram shows a text conversation where a misunderstanding occurs. The boy says '土曜日、ぼくも〇〇会に参加することになったよ!' (On Saturday, I'll be going to the 〇〇 meeting too!). The girl asks 'なんで来るの?' (Why are you coming?). The boy replies 'なんでそんなこと言うの?' (Why are you saying that?). The girl replies 'もう行かない!' (Don't go anymore!). A dashed box on the right explains: '※左のやりとりでは、女の子は「なんで(どういう交通しゅだんで)来るの?」と聞いたつもりだったのですが、男の子は「なんで君が来るの? (来ないでほしい)」と言われたとかんちがいしてしまいました。' (In the conversation on the left, the girl thought she was asking 'Why (with what kind of transportation) are you coming?', but the boy thought she was saying 'Why are you coming? (I don't want you to come)'. This led to a misunderstanding.) Below this, the girl is shown thinking 'なんかおこらせるようなこと言ったかな……?' (Did I say something that would make him angry...?).

文字でのやりとりと、ふだんの会話のちがいを頭に入れ、文字でやりとりするときは相手のごかしいところがないか、必ずかくにんしてからメッセージを送るようにしましょう。